



# 平成24年12月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

平成24年8月10日

上場会社名 大和重工株式会社 上場取引所 東証二部  
コード番号 5610 URL <http://www.daiwajuko.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 保昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 桑田 豊幸 TEL (082) 814-2101  
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第2四半期の業績 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	2,389	△ 2.3	38	-	80	-	75	-
23年12月期第2四半期	2,445	26.9	△ 187	-	△ 150	-	△ 177	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年12月期第2四半期	5	61	-	-
23年12月期第2四半期	△ 13	11	-	-

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
24年12月期第2四半期	5,632		2,035		36.1		150	19
23年12月期	5,910		2,012		34.0		148	48

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 2,035百万円 23年12月期 2,012百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	0.00
24年12月期	-	0.00	-	0.00	-	-
24年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

## 3. 平成24年12月期の業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	4,500	△ 11.5	△ 30	-	50	-	40	-	2	95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年12月期 2Q	13,580,000株	23年12月期	13,580,000株
② 期末自己株式数	24年12月期 2Q	26,369株	23年12月期	26,369株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年12月期 2Q	13,553,631株	23年12月期 2Q	13,553,811株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災などの影響により一時的に落ち込んだ企業の生産活動が持ち直すなど緩やかな回復傾向が見られましたが、欧州債務危機を背景とした世界経済の下振れ懸念が高まり、また、電力供給制限による生産活動への影響や原油高に対する懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような厳しい経済環境のもと、当社は積極的な営業活動を展開し新規先の獲得や多様化する取引先ニーズへの対応力強化に努めてまいりました。また、受注の減少に対応した生産調整を行う一方で、収益構造改善を図るため、原価低減をはじめ、人件費等諸経費全般に亘り削減に全社員で取り組みました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、23億89百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益38百万円（前年同期は営業損失1億87百万円）、経常利益は80百万円（前年同期は経常損失1億50百万円）、四半期純利益は75百万円（前年同期は四半期純損失1億77百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 〈産業機械関連機器〉

工作機械鋳物部品の分野は、依然として中国をはじめ新興国向けの輸出が顕著であり、今後も持続的に伸長するものと思われれます。国内向けの受注は海外に比べ力強さに欠けてはいるものの、徐々に回復基調に入っているものと思われれます。しかしながら、先行きの不透明感から引続き厳しい状況が続いております。

日本工作機械工業会による平成24年1月から6月の受注累計は、前年対比94.4%の実績となっております。

ディーゼルエンジン鋳物部品の分野は、受注に際しては、価格競争力の強い中国製や韓国製などが台頭しており、また、長引く円高の影響も加わって、国内の船舶用ディーゼルエンジンメーカーからは、当社に対しても製品単価の厳しい値下げ要請が続いております。

産業機械鋳物部品の分野では、小口の受注が減少した事により、受注実績が前年に比べ減少となっております。

その結果、当部門の売上高は12億26百万円（前年同期比8.7%減）、受注高は10億86百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

#### 〈住宅関連機器〉

住宅関連機器部門におきましては、新設住宅着工戸数が今年に入り、平成24年2月以降5ヶ月連続で前年同月の水準を上回るなど持ち直しの動きがみられております。特に東日本大震災で被害の大きかった東北地方の住宅着工の増加が鮮明となってきていることから、リフォーム市場も含め引続き拡大するものと思われ、今後の需要が期待されております。

こうした状況の中、新規取引先の開拓や提案型セールスに徹し、業容の拡大に努めた結果、当社の主要商品であります「鋳物ホーロー浴槽」の拡販は好調に推移し、「介護用特注ユニットバス」や防災商品であります「移動かまど」の販売も堅調に推移いたしました。

その結果、当部門の売上高は11億63百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、56億32百万円となり、前事業年度末に比べ2億77百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金が2億40百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、35億96百万円となり、前事業年度末に比べ3億1百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金1億28百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、20億35百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円増加いたしました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が52百万円減少したものの、利益剰余金が75百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ2億40百万円減少して、2億79百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、59百万円(前年同期は1億32百万円の使用)となりました。

これは主に売上債権の増加による支出があったものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、37百万円(前年同期は2百万円の使用)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による使用があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億42百万円(前年同期は3億32百万円の獲得)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日に公表いたしました平成24年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、平成24年8月10日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	994,477	754,178
受取手形及び売掛金	1,506,546	1,612,319
商品及び製品	385,909	404,367
仕掛品	20,519	43,993
原材料及び貯蔵品	171,341	180,659
未収入金	4,473	3,886
その他	2,518	2,689
貸倒引当金	△2,500	△1,000
流動資産合計	3,083,285	3,001,094
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	524,990	510,696
機械及び装置（純額）	625,157	538,341
土地	372,873	372,873
その他（純額）	129,199	116,137
有形固定資産合計	1,652,221	1,538,049
無形固定資産		
無形固定資産合計	10,879	15,511
投資その他の資産		
投資有価証券	928,807	852,251
投資不動産（純額）	158,965	156,016
その他	88,181	81,790
貸倒引当金	△5,166	△5,166
投資損失引当金	△6,700	△7,000
投資その他の資産合計	1,164,089	1,077,892
固定資産合計	2,827,190	2,631,452
資産合計	5,910,476	5,632,547

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	890,727	804,474
短期借入金	1,823,882	1,810,432
未払法人税等	5,544	4,234
賞与引当金	15,000	10,000
その他	256,340	190,711
流動負債合計	2,991,494	2,819,853
固定負債		
長期借入金	538,496	410,180
繰延税金負債	45,788	19,896
退職給付引当金	205,632	233,491
役員退職慰労引当金	43,212	39,962
資産除去債務	17,352	17,429
長期預り敷金	56,115	56,115
固定負債合計	906,597	777,075
負債合計	3,898,091	3,596,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,099,766	1,175,764
自己株式	△4,948	△4,948
株主資本合計	1,900,192	1,976,190
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112,191	59,428
評価・換算差額等合計	112,191	59,428
純資産合計	2,012,384	2,035,618
負債純資産合計	5,910,476	5,632,547

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,445,907	2,389,629
売上原価	2,262,161	1,999,580
売上総利益	183,745	390,048
販売費及び一般管理費	371,744	351,763
営業利益又は営業損失(△)	△187,998	38,284
営業外収益		
受取利息	93	117
受取配当金	7,471	9,138
受取地代家賃	49,420	52,570
その他	9,305	6,423
営業外収益合計	66,290	68,249
営業外費用		
支払利息	16,824	16,149
不動産賃貸関係費	10,621	9,936
製品処分損	1,172	—
その他	426	242
営業外費用合計	29,045	26,327
経常利益又は経常損失(△)	△150,753	80,206
特別利益		
災害による保険金収入	—	9,431
固定資産処分益	7,748	83
スクラップ売却益	7,303	—
償却債権取立益	140	—
その他	1,949	—
特別利益合計	17,141	9,514
特別損失		
災害による損失	—	7,159
投資有価証券評価損	6,414	4,500
投資損失引当金繰入額	—	300
固定資産処分損	2,138	270
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,548	—
特別損失合計	25,102	12,229
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△158,714	77,490
法人税、住民税及び事業税	1,620	1,493
法人税等調整額	17,349	—
法人税等合計	18,970	1,493
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△177,685	75,997

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△158,714	77,490
減価償却費	151,256	131,426
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,000	△1,500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,000	△5,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27,286	27,859
前払年金費用の増減額 (△は増加)	1,349	1,882
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,587	△3,250
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	—	300
資産除去引当金の増減額 (△は減少)	△10,017	—
受取利息及び受取配当金	△7,564	△9,255
支払利息	16,824	16,149
災害による保険金収入	—	△9,431
災害損失	—	7,159
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,414	4,500
有形固定資産処分損益 (△は益)	△6,267	186
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,548	—
投資不動産賃貸収入	△49,420	△49,074
投資不動産賃貸費用	10,621	9,936
売上債権の増減額 (△は増加)	△316,036	△105,773
たな卸資産の増減額 (△は増加)	119,303	△51,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,058	△86,252
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,776	△15,072
その他	5,290	6,315
小計	△124,877	△52,566
利息及び配当金の受取額	7,534	9,180
利息の支払額	△17,302	△16,118
災害による保険金収入	—	9,431
災害損失の支払額	—	△7,278
役員保険積立金の増減額 (△は増加)	4,980	84
法人税等の支払額	△2,688	△2,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	△132,353	△59,827
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△175,000	△175,000
定期預金の払戻による収入	175,000	175,000
投資有価証券の取得による支出	△1,500	△2,100
有形固定資産の取得による支出	△49,830	△71,709
有形固定資産の売却による収入	6,974	—
無形固定資産の取得による支出	△530	△6,154
投資不動産の賃貸による収入	49,420	49,074
投資不動産の賃貸による支出	△7,423	△6,960
その他	63	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,827	△37,924

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	—
長期借入れによる収入	550,000	—
長期借入金の返済による支出	△316,502	△141,766
配当金の支払額	△767	△779
その他	△48	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	332,681	△142,545
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	197,500	△240,298
現金及び現金同等物の期首残高	525,238	519,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	722,739	279,178

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。